

獨英
米佛
分
散
法
拔
萃

完

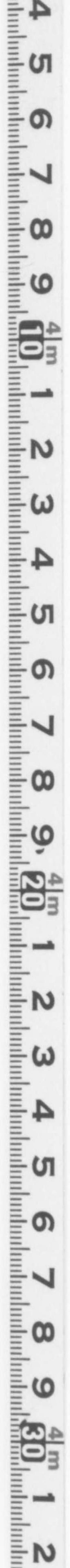
同法省記錄文庫
第九百五號

第 第 第
一 二 六
架 架 號

同法省記錄文庫
第一三號

司法省
第三六號
寄贈圖書文庫

B550
S 2
2



參考

獨英

米佛

今散法拔萃



B550
S 2
2

司法書
B870
156-89
A.C.

獨逸國分散法

獨

獨乙身代限處分規則ニ落札ヲ達スル云々ノ
明文ニ無之候へ共全体上ヨリ視之ニ總テ管財
人其處分ヲ実行スル者ト被存候ニ付己ニ差出
置候獨乙分散法百七條百十三條百十六條百二
十條二項百二十二條第一百二十三條等御參照
相成度候也

獨乙分散法ノ内

第七條 審判開始後管財人ハ直ニ分散有高
ニ屬ス可キ財産ヲ受取り之ヲ管理シ又之ヲ
賣拂等ノ事ヲ處分ス可シ

第十三條 管財人ハ分散有高ニ屬スル各財
物ヲ其價額ヲ付シテ記載シ置ク可シ價額ハ
必要ナル場合ニハ鑑定人ヲシテ之ヲ定メシ
ム記載ノ際ハ官吏又ハ掌証人ノ立會ヲ要ス
分散人モ遷延ナク立會シ得ルルキハ亦之レニ
準カル者トス管財人ノ請求又ハ債主委員
ルキハ其請求ニ因リ裁判所ハ財物記載ヲ廢
シ又ハ官吏或ハ掌証人ノ立會ヲ廢スルコト
ヲ許スヲ得

第百十六條 分散有高。屬スル不動産脅迫管理方並ニ脅迫競賣處分。之レヲ管轄スル官廳ニ於テ分散管財人ノ実施スル所トス

第百二十條 第二項 債主議會。又タ管財人ノ管財及ヒ賣財事務ニ関スル報告計算ヲ此議會又ニ債主委員ニ出スノ方法及ヒ其期限ヲ定ム

第百二十二條ノ内

第一 不動産ヲ直接ニ賣拂ヒ又ニ分散人ノ營業ヲ悉皆讓渡シ又ニ其一定期ニ入ル可キ金額受取ノ權利ヲ讓渡ス等ノ事

第百二十三條 管財人。百二十一條百二十二條ノ場合ニ於テハ債主委員又ニ債主議會ノ

決議前ニ而シテ百二十一條ノ場合ニ若シ債主委員ノ設ケナキ中ニ處置実行前ニ分散人ニ其見込ヲ告知ス然レモ是ニ分散人ニ直ニ告知シ得ル中ニ限ル

裁判所。若シ債主議會ノ承諾ヲ經サル者ナレハ分散人ノ申出ニ依リ處分実施ヲ停止シ更ニ其處分ヲ債主議會ニ附スルコトアリ

英國分散法

英法

英國身代限賤產處分手續

債主集會ニ高務局ノ監督ヲ受ケ管賤人ヲ命ス
若シ管賤人ヲ命セサル前分散人ノ賤產ノ監督
必要ナルハ高務局管賤官ヲ命シ仮ニ賤產ヲ
監督セシムルモトス
管賤人ハ分散條例ニ定メタル諸規則ニ隨ヒ左
ノ事ヲナスヲ得ヘシ

- 一 分散人賤產ノ全部或ハ一部ヲ公賣シ又
ハ私ノ契約ニ依リ之ヲ賣却スルヲ又管
賤人ハ右賤產ノ全部ヲ一個人或ハ會社
ニ引渡シ或ハ之ヲ數種ニ區分シ賣却ス
ルノ權ヲ有スルヲ
- 但シ賤產ト稱スル者ハ分散人商人ナ

ルキハ商業上ノ得意及帳簿上ノ貸金
等ヲ包含ス

二 他ヨリ金銭ヲ受取リタルキハ自己ノ名
義ヲ以テ領收書ヲ渡ス

但シ金銭支拂人該領收書ヲ以テ其支
拂ヲナシタル確証トナスヲ得ヘシ

三 凡テ分散人ノ利害ニ関スル事件ヲ調理
スル

但シ時宜ニヨリ監督委員ノ許可ヲ受
クヘキ

賤産ノ分配

一分散執行ノ為メ入用ノ費用或ハ其他官ニ上
納スヘキ金田ヲ除ケ、外可成速ニ其要求額

ヲ証明シタル債主中ニ分配スヘキモノトス

但シ分配前債主中ニ分配スヘキ

一 第一ノ配当ハ債主初期集會ノ日ヨリ四月内

ニ公告ヲナシタル上分配スヘキモノトス

但シ公告ヲ延期スヘキ充分ノ理由アルキ

ニシテ監督委員ノ承諾ヲ得タルキハ此限

ニ非ス

一 第一配当後ノ分配ハ延期スヘキ充分ノ理

ルニ非サレハ六月以内ニ公告ノ上之ヲナ

スヘシ

前數條ノ外他ニ分配ニ関スル規則種條アリ

トモ當問題ニ必要ナラサルヲ以テ今之ヲ

略ス

右数條ノ規則ヲ以テ考フルキハ管賤人ハ債主
ノ命任ヲ受ケ分散者ノ賤產ヲ處分シ之ヲ公賣
シ或ハ私約ヲ以テ之ヲ賣却ス債主中ニ分配ス
ルノ權ヲ有スルモノナレハ該賤產ノ市價ヲ定
ムルハ管賤人ノ思料中ニ在ルハ論ヲ待タサル
モノトス

令狀執行官

英國ニ令狀執行官ナル者アリ元一郡ノ長官ニ
シテ恰モ我國ノ郡長ノ如シ然古來種々ノ變
遷ニ逢ヒ今日ニ至リテハ裁判所附屬ノ官吏ト
シテ令狀執行ノ事ヲ掌リ又一郡ノ長トシテ該
郡ノ事務ヲ掌ル故ニ一郡ニ巡回裁判所ヲ開廷
スルキハ令狀執行官常ニ其法廷ニ臨ミ事務ニ
從事ス判事令狀ヲ發スルアレハ之ヲ執行シ
罰金ヲ科シ其他種々ノ雜務ヲ掌ル就中裁判執
行ノ為メ被告人ノ動産等ヲ賣却スルヲアリ此
時ニ當リ令狀執行官ハ自ラ至当ト思料シタル
法方ニヨリ之ヲ賣却シ其市價ノ如キニ至ツテ
ハ敢テ他ノ干渉ヲ受ケス自ラ之ヲ定ム故ニ賣

却中失錯アルカ或ハ市價不相当、為メ他人ニ
損害ヲ與フル如キ了アラハ自ラ其責ニ任セサ
ルヲ得ス譬ヘハ百田ノ價アル物品ヲ七十田ノ
抵價ニ賣却シタルキハ其損害ヲ受ケタル者令
狀執行官ニ對シ損害要償、訴ヲナスヲ得ヘシ
又過テ他人ノ物品ヲ賣却スルカ或ハ其買賣中
詐偽ノ所行アルキハ被害者ハ損害要償、訴ヲ
ナスモ又ハ賣買取消ノ訴ヲナスモ妨ケナシト
ス

凡テ令狀執行官ハ一郡毎ニ一人ヲ置キ該郡ノ
事務ヲ掌リ諸裁判所ノ命令々狀ヲ執行ス故ニ
事務甚多忙ナルカ故ニ其職權ヲ以テ屬官ヲ命
スルノ權アリ屬官若シ失錯アルキハ令狀執行

官之カ責ニ任ス

右令狀執行官ノ權限義務ヲ以テ見ルキハ其物
品賣買又其市價ヲ定ムル等、如キハ敢テ他
ノ干涉ヲ受ケサルハ明ナルヘシ尚其掌ル所、一
部ヲ抄記シ參考ニ供ス
身代限、財産公賣處分ニ関シテハ英國特別
法ヲ設ケタリ則別條ニ記出ス

裁判執行

裁判執行、方法四種あり則左、如シ

但シ訴訟物件金錢、時ニ限ル若シ他、物
品或ハ不動産、請求ナルキハ別ニ方法アリ
今之ヲ畧ス

一 拘留状

蓋シ此令状、目的ハ借金或ハ損害及訴訟
入費ヲ支弁スル迄被告人(借主)ヲ拘留スル
ニ在リ故ニ有位或ハ特許ヲ有スル人譬ヘ
ハ貴族國會員等ニ之ヲ適用スルヲ得ス又
被告高齢ナル、故ヲ以テ此、執行ヲ免レ
タル、例アリ

有夫婦、借賤ニ関シ原告夫婦ヲ對手トシ

出訴ヲナシ而裁判ヲ得タルハ該裁判執
行、為メ夫婦ニ對シ拘留状ヲ發スルヲ得
ヘシ又其婦、之ニ對シ之レヲ發スルヲ得
ルナリ

此令状ヲ以テ令状執行官ハ原語「セリ」ト
稱ス法律上被告所在、家屋ヲ破ルヲ得ス
虽然若シ外部、門戸開ケ居ルハ内部ノ
戸障子ヲ破毀シ被告ヲ拘留スルヲ得ヘシ
此令状ハ元ト人、自由ヲ褫奪スルヲ以テ
非常、處置ト云ハサルヲ得ス故ニ人若シ
一度此令状ヲ執行シタルハ被告、動産
或ハ不動産ニ對シ他、令状ヲ發スルヲ得
サルモノナリ虽然被告拘留中未タ納金セ

スシテ宛去シタルハ其後新ニ不動産或
ハ動産ニ對シ執行令状ヲ發スルヲ得ヘシ
拘留状ハ其地、令状執行官ニ宛發スルモノ
ニシテ之ヲ以テ被告ヲ拘引セシメ直子ニ
ウエストミンストルニ引致セシムルヲ命
ス而該被告裁判金額ヲ支弁スル迄拘留シ
或ハ正当ニ解放ヲ得ル迄留置スルナリ
正当ニ解放ヲ得ルトハ譬へハ身代限
、處分ヲ受ケタル時、如シ

一 動産差押状

該令状ヲモ亦令状執行官ニ宛發スルモノ
ニシテ之レヲ以テ被告、動産ヲ差押ヘ之
ヲ賣却シ裁判金額ヲ徴收シ原告ニ送付ス

有位ノ貴族其他特許ヲ有スルモノト雖モ
此令状ノ執行ヲ免ル、ヲ得ヌ又死者ノ遺
産ニ関シ管財人或ハ管財官ニ對シ之レヲ
差スルヲ得、シ
拘留状ト同シク此令状ヲ以テ執行官ハ外
部ノ門戸ヲ破毀スルヲ得ヌ但シ静カニ入
リタル後内部ノ戸障子ヲ破リ動産ヲ差押
スルヲ得、シ
此令状ヲ以テ被告所有ノ動産ヲ尽シ差押
スルヲ得、シト雖モ被告及其家族ノ衣類
夜具及其商賣道具ニシテ其價五磅ニ滿タ
サルモノハ差押スルヲ得ヌ
不動産附屬ノ物品ハ裁判執行ノ為メ賣却

スルヲ得ヌ但シ穀物其他労働ヨリ生シタ
ル物品ハ之ヲ賣却スルヲ得ヌ又藁枯草青草
根野菜等ハ賣却スルモ妨ケナシ
又被告所有ノ金錢ハ論ヲ待タヌ為換証券
銀行札手形約束手形証券等都テ流通ス、
キ証券類ハ之ヲ差押、以テ債主ニ支払フ
コトヲ得、シ
若シ此令状ヲ以テ取立テタル金員裁判金
額ヨリ不足ニシテ之ヲ償フニ足ラサルハ
ハ原告ハ尚拘留状ヲ差シ殘額ヲ払フ迄被
告ヲ拘留スルヲ得、シ
又令状執行官差押、タル物品ヲ至当ノ代
價ヲ以テ賣却スル能ハサルハ該執行官

ハ買手ナキノ故ヲ以テ物品其子ニ在ル云々ヲ令状ニ記載シ復命スハシ然ルモハ先キニ其執行ヲ請願シタル者尚実行セシコトヲ請ヒ公賣ヲ請フノ令状ヲ受クルヲ得ハシ而此令状ヲ発シタルハ令状執行官ハ返令ハ其代價不相当ナルモ其内ノ高價ヲ撰ミ之ヲ賣却セサルヲ得サルモノトスレウワリフアシラス令状(被告ノ動産及ヒ不動産ノ取得物ヲ差押ユル為メノ令状)右ノ令状ハ当時多ク用ヒス主トシテ僧侶ノ輩ニ對シ之ヲ用ユ今之ヲ詳説スルヲ要セス

四

更撰令状

(更撰令状トハ第二第三及此令状中孰レヲ発セントスルマ之ヲ撰ムノ權ハ裁判ヲ得タル原告ニ屬スルヲ以テ斯ク云フ)右ノ令状ヲ以テ被告ノ動産ヲ尽ク差押ハ其代價ヲ定メ借錢ノ代リトシテ之ヲ原告ニ交付ス虽然之ヲ賣却スルヲ許サス若シ右ノ動産ニテ尚不足ナルハ令状執行官ハ被告所有ノ地取家屋ハ申スニ及ハヌ後來受ク可キ利益又ハ被告ノ為メニ委託ヲ受ケ所持シタル地取ヲモ原告ニ交付スルヲ得ルナリ而裁判ヲ得サル債主ハ該地取家屋ノ取得ヲ以テ借錢ニ相当スル間之ヲ所持スルヲ得ハシ或ハ衡平法裁判取

ニ請願シ其許可ヲ得テ其所得權ヲ他人ニ
賣却スルヲ得ヘシ

更撰令状ヲ發スルハ非常ノ処置ナルヲ以
テ其令状ニヨリ地所家屋等ヲ受取りタル
後原告ハ再々拘留状ヲ以テ被告ヲ拘留ス
ルヲ得ナルナリ然地所ナキ故ニ動産
ノミヲ差押ヘ而其動産ノミヲ以テ其借財
ヲ支払フニ足ラサル所ハ別ニ拘留状ヲ發
スルヲ得ヘシ何トナレハ此場合ニ於テ更

撰状ハ動産差押状ニ異ナラサレハナリ
凡テ令状執行官ハ動産賣買ノ節其市價不相
ナルニ拘ハラス之ヲ賣却スルカ或ハ他ニ過誤
失錯ノ為メ他人ニ損害ヲ与ヘタル所ハ誤被害

者ニ對シ之ヲ償フノ義務アルモノトス

米國分散法

米國分散法

米國例規

裁判ノ執行ニ方テ敗訴者ノ財産ヲ賣却シ其
 代金ヲ以テ之ニ充ル場合ニテハ裁判所ヨリ
 令狀執行官ニ宛其旨ノ執行狀ヲ發付ス此令
 狀ニハ左ノ件々ヲ明記ス可キナリ

其判決ノ主旨○其裁判ニ勝ヲ得タル人并ニ敗
 ヲ執リタル人ノ姓名○其執行ヲ言渡セシ時期
 及ニ裁判所○執行官ハ其裁判ニ對シ負債主タ
 ル人ノ動産ヲ以テ其執行ニ充テ若シ動産不足
 ナル時ハ其人ノ當時又ハ將來所有スル不動産
 ヲ以テ之ニ充ツ可キ旨○執行官ハ此令狀ヲ落
 手シタル後テ六十日內ニ適當ノ昏記ニ其復命
 ヲ為ス可キ旨

執行官ニ於テ右ノ件々ヲ具備スル合式ノ令
狀ヲ受タル時ハ義務者所有ノ金員ヲ領收シ
或ハ貸金ヲ取集メ或ハ株式公債証書等ヲ賣
却シ猶ホ不足ナレハ動産類ヲ賣却シ而シテ
猶ホ裁判ノ金額ニ充サル時ハ又義務者カ不
動産上ニ有スル諸權利諸利益ヲ賣却スヘシ
但シ法律ニ於テ其賣却ヨリ取除アル財産ハ
之ヲ得ス
凡ソ裁判執行狀ニ依リ又ハ裁判若クハ命令ニ
遵フテ動産不動産ヲ賣却スルニハ午前九時ヨ
リ日没マテノ間ニラ公ケル糶賣ヲ以テ之ヲ為
ス可シ
令狀執行官其差押タル財産ヲ糶賣ニ付スル

ニハ其動産ハ左ノ手續ニ依ルヘシ
凡ソ動産ヲ糶賣スルニハ先ツ集合区分シテ以
テ最高價ヲ招クニ相応セシムヘシ
凡ソ糶賣ニ付スルヲ得ル動産ハ執行官カ現ニ
保有シテ其賣買ニ伴フ人等ノ眼前ニ存スル者
ニ限ル可シ但シ法律ニ明言シテ現ニ保有セサ
ル財産ヲ賣却スルコトヲ許ス場合ハ此例ニ在
ラス

〔断例ニ依レハ〕執行官適法ニ賣却スル時ハ當
時義務者カ其財産上ニ有セシ所有權ニ其買
主ニ移轉スヘシ
又動産ト不動産トハ必ス分別シテ賣却スル
ヲ要ス決シテ聯合シテ賣却スルヲ許サス

又本條ニ遵ヒ其賣却セシトスル財産現場ニ
在テ直チニ其望人へ指示ス可キ力故ニ又其
場ニテ之ヲ賣渡セハ自カラ其所有權ヲ移轉
ス可シ云々

執行狀ニ依テ動産ヲ糶賣スルニハ少ナクモ六
日前ヨリ其糶賣ノ時期先ニ場所ヲ公告スルヲ
要ス而シテ其公告ハ分明ニ書記シ又ハ印刷シ
タル告知書ヲ其糶賣ヲ行フ市邑内ノ公ケノ場
所少ナクモ三個所ニ掲示スヘシ

右ノ二箇條ニ動産糶賣ノ手續ニ係ル不動産
糶賣ノ手續ハ之レニ異ナル即チ左ノ如シ
執行官執行狀ニ依テ不動産ヲ賣却スルニハ左
ノ方法ニ依リ前以テ其糶賣ノ時期先ニ場所ヲ

公告ス可シ

一 書記又ハ印刷シタル其公告書ヲ糶賣ヨリ
少ナクモ四十二日前ニ其糶賣ヲ行フ市邑
内ノ公ケノ場所三個所ニ公然掲示スルヲ
必要トス又其糶賣他ノ市邑ニテ行ハル
時ハ其不動産所在市邑ノ公ケノ場所三個
所ニモ同様掲示セサル可カラス

二 又右六週間ハ少ナクモ一週ニ一度其郡内
ニテ刊行スル新聞紙ニ公告スルヲ要ス若
シ其郡内ニ新聞紙ナキ時ハ法律上公告ニ
定メタル某ノ新聞紙ヲ以テスヘシ

右ノ公告ニハ其賣却スル不動産ノ性質並ニ所
在市邑ノ名称及ヒ該産ノ番号等ヲ記載スヘシ

執行狀ニ批テ不動産ヲ賣却スル執行官若シ前
條ニ定ムル如ク公告スルコト無シニ又ハ法律
ニ定ムル所ヨリ他ノ方法ニテ賣却スル中ハ為
メニ生シタル損害ヲ賠償シタル上罰金一千費
ヲ被害者ニ払フヘシ
執行官執行狀ニ批テ不動産ヲ賣却スル時ハ左
ノ事項ヲ記載スル賣渡証書二通ヲ作り証書ノ
保証ヲ見留ムル職權アル官吏ノ面前ニテ之ニ
署名シ以テ保証スルヲ必要トス
一 買主ノ姓名及ヒ賣渡セシ時期
二 其賣渡タル財産ノ明細書
三 賣渡タル各財産ノ代價附
四 其拂込タル代金金額

執行官ハ右賣却後十日内ニ右証書一通ヲ其郡
ノ書記局ニ差出シ又一通ヲ其買主ニ交付スヘ
シ若シ買主数名アル中ハ各一通ヲ交付スヘシ
書記右証書ヲ受取レハ直チニ其為メノ帳簿ニ
登録シ其見出ニ義務者ノ姓名ヲ記入ス

右証書ハ後ノ賣渡証書ニシテ十五箇月ヲ經
サレハ本証書ヲ交付スルコト無シ然ル所以ハ
右賣却ヨリ十二箇月内ハ法律ニ於テ原所有
者ニ買戻ノ權利ヲ存留シ又十二箇月後三箇
月内ハ其裁判上ノ權利者ニ買戻ノ權利ヲ附
與セルヲ以テ十五箇月ノ後ニ非サレハ買主
ノ權利確定セサルカ故ナリ

佛國分散法

身代限財産公賣ノ落札ヲ言渡ス手續

佛國ニ於テ身代限ヲ受ケタル者ノ不動産ノ公賣ハ幼者ノ所有不動産公賣ト同一ノ手續ニ依

ル商法第七百五十七條

幼者所有ノ不動産ノ公賣ト虽モ入札落札ノ手

續ハ普通ノ規則ニ從フ新法第九百六十四條

公賣ニ付レタル不動産入札ハ裁判所ノ訟定ニ

於テ之ヲ行ヒ其入札スル者ハ代訟人ニ限ルモ

ノトス故ニ公賣ノ不動産ヲ買入レシト欲スル

者ハ代訟人ニ依頼ス此代訟人ヲシテ代理セシ

ムル所以ノモハ落札者ノ資力ヲ慥ノルカ為

メナリ訴法第七百五十五條

入札ノ後左ノ公賣裁判ヲ下シテ落札者ノ獲得

シタル所有權ヲ定ム

某始審裁判所何年何月何日ノ競賣公定ハ某

君某君(裁判長判事檢事ノ名)出席ノ上

訴人某氏ノ代訟人某氏ヨリ差押タル不動産

ノ公賣ヲ行フ為ノ鞫賣ノ箇条各訴第百九条各訴第百六百ノ

朗讀並ニ公賣願費用百第百七条ノ高ヲ申渡アラ

シテ裁判所ニ求ムル旨ノ申立ヲ聽キ

差押ヲ受ケタル某氏ノ代訟人某氏ヨリ、

、、、、、ヲ裁判所ニ求ムル旨ノ申立ヲ

聽キ

檢事ノ意見ヲ聽キ

(書入債主ノ代訟人ノ申立アリハ同上ノ式ニ

依リテ爰ニ記ス)

點火ノ事ハ訴
第百五條ニ
詳ナリ

裁判長閣下ノ命令ニ依リ訟廷使吏ハ箇條各

ノ朗讀シ裁判費用係判事某君ノ命ニ依リテ

訴訟法第百一條ニ従ヒ高ヲ定メタル公賣

願費用ヲ申シ聞ス但シ其高ハ何「アラシナリ」

第一點火ニテ某氏(代訟人)ハ何千「アラシニ入

札シ某氏(代訟人)ハ何千「アラシニ入札ス

第一火滅シ第二點火ニテ某氏(代訟人)ハ何万

「アラシニ入札ス

第二火滅シ第三點火ニテ某氏(代訟人)ハ何万

「アラシニ入札ス

更ニ二點火アリ其滅スル迄別ニ入札ナシ依

テ某氏(代訟人)ハ已レニ落札アリテ何万「アラ

シテ以テ不動産ヲ賣下ケアリ度ク尤モ法律

一定ムル所ノ期限内ニ入札依頼人ノ氏名ヲ
指示ス可シト論結セリ

裁判所ハ

別ニ入札ナク第二點火ノ消滅シタルニ依リ
某氏(代訟人)ニ箇條各ニ記スル條件ヲ遵奉シ
法律ニ定ムル期限内ニ入札依頼人ノ氏名ヲ
指示スルノ責ヲ以テ今マ何「フ」ラニ「代價」ニ
テ不動産ノ落札人トス

又此裁判言渡ノ通達ニ依リ右不動産ノ諸占
有者ハ落札人ノ為ノニ其占有ヲ棄却スヘシ
若シ棄却セサル片ハ摠テ法律上ノ方法ニ依
リテ強制セラル可キ旨ヲ命令ス

不動産ノ公賣ハ訴訟法第六百十七條ニ定メタル

場所ニ於テ評價人ナル者之ヲ行フ若シ評價人
アラサル片ハ公訟人登記及ニ使吏之ヲ行フ入
札ハ通常ノ糶賣ノ手續ニ依リ調書ヲ作りテ落
札者ヲ定ム別ニ裁判所ヨリ入札ヲ言渡ス「ナ
シ

